

友の会だより

No.73
2024.6

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

タクミのセラミック・トラベル

会期：2024年7月27日(土)～9月23日(月・振)
主催：茨城県陶芸美術館
後援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送
休館日：毎週月曜日(ただし、8月12日、9月16日、9月23日は開館)、9月17日(火)

本展は、陶芸の表現の多様さを日々膨張を続ける宇宙になぞらえ、新人スペースガイドの「タクミくん」と“やきもの銀河”を旅するように当館のコレクションを中心に約70点の様々な陶芸作品を紹介します。幅広い年齢層に楽しんでいただける展覧会です。



▲中島 晴美
苦闘する形態T-1 2001年
(茨城県陶芸美術館蔵)



▲アイザワ リエ
縹 2021年
(茨城県陶芸美術館蔵)



▲奥村 巴菜
God of Peruvian forest 2021年
(茨城県陶芸美術館蔵)



▲佐合 道子
瑞祥 2012年
(茨城県陶芸美術館蔵)

●会期中の催事のご案内

*詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。

●バッグづくり～旅の思い出を詰め込もう～(要予約/定員各回10名※抽選)

内容：ステンシルを用いてオリジナルのエコバッグをつくるワークショップ。

日時：8月3日(土) 午前の部：10時から11時30分 午後の部：13時30分から15時まで

会場：当館地下1階研修室 参加費：無料(要企画展観覧料)

●ぼくのわたしのセラミック・プレート(要予約/定員各回10名※抽選)

内容：上絵付け用マーカで皿に絵付けを行い、オープンで焼き付けるワークショップ。

日時：8月17日(土) 第1回：10時から11時30分 第2回：13時から14時30分 第3回：15時から16時30分まで

会場：当館地下1階研修室 参加費：無料(要企画展観覧料)

●親子で巡るやきもの銀河ツアー(予約不要)

内容：担当学芸員が展覧会をご案内

日時：8月24日(土) 13時30分から14時15分まで

会場：当館地下1階企画展示室 参加費：無料(要企画展観覧料)

●読み聞かせの会(予約不要/定員30名)

内容：美術館スタッフによる大人も子どもも楽しめる読み聞かせの会。

日時：9月21日(土) 13時30分から14時まで

会場：当館地下1階研修室 参加費：無料(要企画展観覧料)

(当館ウェブサイト)



茨城県陶芸美術館ウェブサイト <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

食卓を飾る食器を

武 伸也 さん

笠間の市街地、かつての人車道沿いに建つ武伸也さんの陶房を訪ねました。木々がみずみずしい緑をたたえる庭を案内していただきながら、お話を伺いました。



ご出身はどちらですか？

地元、笠間市です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください

わたしは、高度経済成長期に育ちました。大量消費の時代であり、全てに勢いがありました。その頃から、将来の進路として組織の歯車になることが理解できずに居ました。父の仕事の関係で、物づくりの楽しさを感じていたところ、ある時、旅の土産でいろいろな唐津焼の酒器を見ました。その頃になると、笠間でも若い作家さんが現れてきて、陶芸家という職業が認識できました。陶芸は一貫生産で、

自分の仕事が目に見えるのが魅力です。高校卒業後、専門学校の陶芸科に進みました。父が趣味で購入する陶磁器を見て、自分にも出来るのではないかと考えていました。陶芸は年季仕事で、年数と経験を積みばなんとか暮らせるようになるのではないかと考えたわけです。専門学校で基礎を学んだ後、いくつかの窯元で修業の生活を送りました。そこでは、職人の巧みな技術に触れて感銘を受けました。仕事が終わった後に居残って、見て覚えた技術を練習しました。作家さんのお弟子さんとは異なる経験もさせていただいたと思います。



作品づくりについてお聞かせください

自宅に築窯した頃から徐々に笠間焼の知名度が上がってきて、商品として売れるようになってきました。その頃から、日常生活を楽しむための生活に密着した食器類を中心に作ってきました。木灰を大量に入手できたので、水簸（すいひ）により釉薬の調合もします。柔らかい風合いが出ます。「ひとにやさしい器開発研究会（ひとらぼ）」にも所属して、器を使うすべての方に使いやすい器を工夫しています。



今後どんなことをやりたいですか

今後も灰釉をベースに続けていきたいです。大学校にも協力を得ながら、笠間の栗を使った「栗灰」を使ってみたいと思っています。栗の木の剪定によって出る大量の枝の利用を考えています。「陶器は和食に」のイメージが強いですが、洋食にも耐える食器を作れたらいいなと思います。材料を変えず、姿の良い物、持ちたくなる物を追求していきます。



プロフィール

東京デザイナー学院卒業後、笠間・益子にて修業
昭和55年 笠間に築窯
茨城県芸術祭入選
個展多数

対談を終えて

自分の生き方をゆったりと進んでいく姿勢に、自然体であることと、それが故の力強さを感じました。作陶についてのお話からは、研究熱心な人柄が伝わってきました。また、好きだとおっしゃる酒や酒器の話を楽しそうに話す、気さくな方でもありました。今後、どのような器を生み出していけるのが楽しみです。



友の会からの お知らせ1

令和5年度に 実施した事業一覧

- 会報紙(友の会だより)発行
70号 7月1日、71号 10月1日、72号 2月1日

つくる

- ヨーロピアン磁器絵付け講座
期 日：9月10日(日) 9月24日(日)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 氏
会 場：陶芸美術館 地下1階研修室
参 加 者：19名

きく

◎講演会

- 日 時：9月14日(日)
講 師：布浦 万代 氏
演 題：「万葉集から常陸国を読み解く
—東歌から見えてくるもの—」
会 場：茨城県陶芸美術館 1階多目的ホール
参 加 者：49名

みる

- 国内研修視察
期 日：12月1日(木)～12月3日(土)(2泊3日)
訪 問 先：長崎(波佐見 長崎市内観光 他)
唐津(中里太郎右衛門窯)
参 加 者：21名
- 日帰り研修
期 日：3月3日(日)
訪 問 先：東京(五島美術館、北区飛鳥山博物館)
参 加 者：14名

呈茶会

- 期 日：11月13日(月) 茨城県民の日
席 主：永地 宗栄 氏 (裏千家)
参 加 者：53名
会 場：茨城県陶芸美術館
地下1階オープンギャラリー(立礼式)

友の会からの お知らせ2

令和6年度に 予定している事業

- 会報紙(友の会だより)発行
73号 74号 75号

つくる

- ヨーロピアン磁器絵付け講座
募集人数：20人
期 日：7月18日(木) 7月30日(火)(2日間)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 氏
会 場：陶芸美術館 地下1階研修室



本年度作成予定の絵皿

きく

◎友の会主催講演会

- 日 時：9月15日(日)
講 師：飯田義之 岸間健食 両氏
演 題：「能楽、歌舞伎とそば猪口文様を中心に」(仮)
会 場：陶芸美術館 1階多目的ホール

みる

- 国内(外)研修視察 ※会報74号で募集
期 日：12月3日(火)～12月5日(木)
行 き 先：関西方面 ※詳細を決定後、会報74号でお知らせします。
- 日帰り研修
期 日：未定
行 き 先：東京方面 ※詳細を決定後、会報74号でお知らせします。

呈茶会

- 期 日：11月13日(水) 茨城県民の日
会 場：茨城県陶芸美術館 地下1階オープンギャラリー

友の会からの お知らせ3

編集委員を募集

友の会では各種事業を実施するに当たって、各種委員さんがそれぞれに役割を分担しています。今回、友の会だよりを編集する編集委員さんを募集します。掲載内容を検討したり、作家さんとの対談をしたりします。関心のある方は、ぜひ陶芸美術館企画管理課友の会担当まで連絡をお願いします。

友の会からの お知らせ4

各種事業における運営協力員募集

茨城県陶芸美術館や友の会の主催・共催事業への協力(係員等のボランティア)をしていただける方を募集しています(友の会会則参照)。参加可能な期日や時間帯だけ、あるいは事業参加のついででも結構です。興味のある方や内容を詳しくお知りになりたい方は陶芸美術館企画管理課友の会担当までお問い合わせ下さい。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ 0296-72-9322

笠間工芸の丘 0296-70-1313

笠間みんげい 0296-72-9280

かつら陶芸 0296-72-6688

ギャラリー桜 0296-72-0803

ギャラリー舞台 0296-73-0700

● 7月13日(土)～7月28日(日) 坪内孝典展

● 8月3日(土)～8月18日(日) 坂本新展

● 9月14日(土)～9月23日(月・振) 小山義則展

● 9月28日(土)～10月14日(月・祝) 大野香織展

笠間焼窯元共販センター 0296-72-5665

きらら館 0296-72-3109

● 6月18日(火)～6月30日(日) 西村俊彦 作陶展

● 7月2日(火)～7月15日(月) 勝田恭司 3人展

● 7月17日(水)～7月28日(日) 野村晃子 作陶展

● 7月31日(水)～8月25日(日) ねこ展

● 9月7日(土)～9月23日(月・振)

杉本遊炫・田中千裕 2人展

● 9月25日(水)～10月6日(日)

内藤加奈子・浅野恵美子 2人展

向山窯 0296-72-0194

丹野陶房 0296-72-4028

陶芸館 0296-72-6650

東風舎 0296-72-5205

無限堂 0296-72-1695

やまさき陶苑 0296-72-6865

涼 0296-72-0712

ミュージアムショップ(館内) 0296-72-7105

レストラン「風の丘」(館内) 0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る)：年会費(2人で)5,000円

学生会員：年会費2,000円

特典1 常設展が、何度でも無料で観覧できます。

特典2 企画展が年2回まで無料で観覧できます。

特典3 会報の無料配付(年3回)を受けられます。

特典4 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。

特典5 友の会主催の各種事業に参加できます。

(さらに特典のある特別会員制度もあります。)

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。

茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)

電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して約1年が経過しました。その他の感染症も含めて対策は怠れませんが、世の中の動きは、活発になってきているように思えます。諸物価高騰の折、友の会の財政も厳しさを増してきていますが、会員のみなさまには、役立つ情報をより多くお届けしていきたいと思っております。

友の会だより No.73

発行：令和6年6月20日

編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会

〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)

電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集委員：小栗 和子 鈴木 充